Ⅱ．海外経済

		7月	8月
世界経済		世界の景気は、全体として減速感が広がっており、弱い回復となっている。 先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響等により、景気が下振れするリスクがある。	世界の景気は、減速の動きが広がっており、弱い回復となっている。 先行きについては、弱い回復が続くと見込まれる。ただし、ヨーロッパ地域の一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響等により、景気が下振れするリスクがある。また、このところの一次産品価格の動向に留意する必要がある。
アメリカ		アメリカでは、このところ一部に弱めの動きもみられるが、景気は緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復傾向が続くと見込まれる。ただし、雇用環境の改善の遅れや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。また、財政緊縮の影響に留意する必要がある。	アメリカでは、景気の回復テンポがさらに緩やかになっている。 先行きについては、緩やかな回復傾向が続くと見込まれる。ただし、雇用環境の改善の遅れや住宅価格の下落等により、景気が下振れするリスクがある。また、財政緊縮の影響に留意する必要がある。
アジア地域	中国	中国では、景気の拡大テンポがやや鈍化しているものの、一部に安定化の兆しもみられる。 先行きについては、各種政策効果もあり、緩やかな拡大傾向となることが見込まれる。ただし、輸出や不動産価格の動向に留意する必要がある。	中国では、景気の拡大テンポがやや鈍化している。 先行きについては、各種政策効果もあり、緩やかな拡大傾向となることが見込まれる。ただし、輸出や不動産価格の動向に留意する必要がある。
	インド	インドでは、景気の拡大テンポは弱まっている。 先行きについては、当面、低めの成長となることが見込まれる。また、物価上昇によるリスクに留意する必要がある。	（変更なし）
	その他アジア地域	その他アジア地域では、景気は一部に持ち直しの動きもみられるが、足踏み状態となっている。 先行きについては、当面、足踏み状態が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。	その他アジア地域では、景気は足踏み状態となっている。 先行きについては、当面、足踏み状態が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。
ヨーロッパ地域		ヨーロッパ地域では、景気は足踏み状態にあり、一部に弱い動きもみられる。ドイツではこのところ持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、弱い動きとなることが懸念される。また、ＥＵ首脳会議等で取組が行われているものの、一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響により、景気が低迷するリスクがある。さらに、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。	ヨーロッパ地域では、景気はこのところ弱含んでいる。ドイツではこのところ持ち直しの動きが緩やかになっている。 先行きについては、弱い動きとなることが懸念される。また、一部の国々における財政の先行きに対する根強い不安を背景とした金融面への影響により、景気が低迷するリスクがある。さらに、各国の財政緊縮による影響や、高い失業率が継続すること等に留意する必要がある。